

「理工系大学における英語教育の取り組み」 ～習熟度別クラスにおける e ラーニングの活用～

2022 年 12 月 16 日に開催いたしました「大学のグローバル化 情報交換セミナーVol.52」にて、北海道科学大学 全学共通教育部 教授 坂部俊行先生にご講演いただいた際のレポートとなります。

ALC EDUCATION INC.
大学のグローバル化 情報交換セミナー Vol.52
2022年12月16日

理工系大学における英語教育の取り組み ～習熟度別クラスにおけるeラーニングの活用～

北海道科学大学
坂部俊行



© Hokkaido University of Science All Rights Reserved

北海道科学大学は、工学部、薬学部、保健医療学部、未来デザイン学部の4学部13学科と3研究科からなる、いわゆる理工系の学部・学科から構成されている実学系総合大学です。他の理工系大学や学部と同様に、英語学習を重要視していない・あまり得意ではない学生様が少なくない、という背景があるため、このような学生様に対する英語学習へのモチベーション向上、確実な単位修得、英語力底上げなどを、日々取り組んでいらっしゃいます。本ご講演ではその概要と一部詳細をご紹介します。

○習熟度別クラスにおける実施内容

必須科目の英語授業を1年生の前期から2年生の前期にかけて実施しており、新入生ガイダンスの際に実施するプレイスメントテストの結果に基づき、Primary, Intermediate, Advanced という3つのレベルでクラス分けをいらっしゃいます（原則、最初から2年生前期までレベル移動は無い、とのこと）。

Primary: e ラーニングを主教材として、基礎的な内容を中心に確認テストや解説、指定されたパートを授業中に受講するようご指導されています。

とても印象的だったのは、英語学習支援室（チューターによる授業外の個別サポート向け教室）と連動した取り組みです。授業で実施した内容を再度、個別サポートを受けながら学んでいただき、実施内容に紐づいた小テストを満点が取れるまで繰り返すことで知識の定着を試みているそうです。多くの大学で、実施したくともできないような手厚いサポートを学生様へ提供されていることについて、詳細までご紹介いただきました。

Intermediate: コミュニケーション能力の基礎修得を目的とした内容であり、e ラーニング教材は授業外での実施用という位置づけでした。4技能向上のため、ペア・グループワークを中心とした演習をなさっています。

Advanced: ネイティブ講師が担当。Intermediate と同じくコミュニケーション能力向上を目的とした演習を実施されています。

○共通教材以外による英語活動



各講義内においては、先述したような e ラーニングや書籍を用いたパートのほか、20~30 分ほど学生様のモチベーションを高める・興味や関心を惹くようなアクティビティを実施されています。ご講演では、その一部をご紹介します。

どのようなアクティビティを実施するのかは、各教員の裁量にお任せしているとのことでした。例えば映画（米国の歴史や文化も学ぶことができるテーマのもの）を教材とされている先生は、チャプターごとに出てくるフレーズやイディオムを紹介したり、クイズ形式で出題をされていることなどをご紹介します。

それ以外にも、ご講演ではオリジナル性の高いアクティビティもご紹介いただき、英語が苦手な学生様が授業に参加し易い環境を作られていることを垣間見ることができました。また、ご紹介いただいたアクティビティは対面・リモートどちらでも実施が可能であり（むしろリモートの方がメリットの多いこともある）、現在の状況に適した内容である、という印象も持ちました。

北海道科学大学の英語教育に関するご講演のレポートは、以上となります。皆様のご活動の参考としていただけますと幸甚に存じます。

なおアクティビティなど本ご講演の詳細は、直接動画にてご視聴いただけます。ご希望の際はメールにて、本文中にお名前とご所属先をご記載の上、academy@alc.co.jp までご一報願います。

最後に弊社からのご案内です。

本ご講演にてご紹介いただいた弊社 e ラーニング教材：ALC NetAcademy NEXT は新規および既存導入校様向けに、2022 年 12 月から 2023 年 3 月まで期間限定キャンペーンを実施しております。

キャンペーン適用条件もあるため、ご関心が御有りの際は academy@alc.co.jp までお問い合わせをお願いいたします。

（文・構成：文教営業部 虎澤将人）